# DI 指数、5年ぶりプラスに

# 第70回冷凍空調機器需要予測調查報告

当会は、令和6年4月から5月12日までの期間に、 第70回冷凍空調機器需要予測調査を実施した。同調査 は全普通会員約3,300社を対象に調査票を送付、書面記 入方式で実施した。その結果、5月10日までに回答の あった417社(回答率12.6%)について集計したものの 報告である(回答企業の地域別・業態別は、表1)。

同調査は、年1回実施しており、昨年は4月に実施 している。

# I. 最近の商況

#### DI指数プラス16.1ポイントと17.2ポイント改善

「最近の商況」の質問では、「良い」「やや良い」と前年度を上回った企業は39.3%(前回29.9%)、「やや悪い|「悪い|「非常に悪い」を合わせて23.2%(同

31.0%) となり、業況を占うDI (景況) 指数はプラス16.1ポイント (同マイナス1.1 ポイント) となった。 5年ぶりにプラスとなり、2年連続で大幅に改善した (表 2)。

日本経済は、2022年のGDPは、名目では、ドイツに抜かれ4位に転落、実質経済成長率は1.9%増だった。

そのような状況の中、2023年度の冷凍空調業界は、出荷台数を見ると前年度と比較してパッケージエアコン(PAC)と冷凍冷蔵ショーケースは減少、業務用冷蔵庫は増加した。

今回の調査結果は、前年度を上回った「良い」「やや良い」は10ポイント近く増え、前年度を下回った「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」は7.8ポイントも改善していることから、堅調に回復しているという状況にある。

地区別に見ると、「北海道」(プラス 55.5ポイント)と大幅に改善、昨年、北 海道で猛暑が続いたことの影響があった ものと思われる。続いて「関東甲信越静」

表 1 地域別・業態別回答数

所在地 (ブロック)	件数	空調設備	冷凍・ 冷蔵設備	その他	無回答
△ = (件)	417	281	64	67	5
合 計 (%)	100.0	67.4	15.3	16.1	1.2
小木木中区	27	16	7	3	1
北海道地区	100.0	59.3	25.9	11.1	3.7
후사까다	51	35	8		
東北地区	100.0	68.6	15.7	15.7	_
即本田/号北越	156	106	25	25	
関東甲信越静	100.0	67.9	16.0	16.0	_
+ 20.116	41	32	5	3	1
中部地区	100.0	78.0	12.2	7.3	2.4
\L 4 41 P \C	28	17	5	5	1
近畿地区	100.0	60.7	17.9	17.9	3.6
+Emb	40	23	4	11	2
中国地区	100.0	57.5	10.0	27.5	5.0
	24	13	4	7	
四国地区	100.0	54.2	16.7	29.2	_
<b>エロナル</b> 区	44	36	4	4	
西日本地区	100.0	81.8	9.1	9.1	

表 2 最近の商況(地域別)

我 2										
所在地 (ブロック)	件数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い	無回答		
合計(件)	417	48	116	147	64	27	6	9		
合 計 (%)	100.0	11.5	27.8	35.3	15.3	6.5	1.4	2.2		
17.24.共1141区	27	8	9	8		2				
北海道地区	100.0	29.6	33.3	29.6	_	7.4	_	_		
東北地区	51	2	14	16	10	6	1	2		
宋北地区	100.0	3.9	27.5	31.4	19.6	11.8	2.0	3.9		
<b>即市田/台址</b>	156	27	42	57	17	7	2	4		
関東甲信越静	100.0	17.3	26.9	36.5	10.9	4.5	1.3	2.6		
中部地区	41	2	11	15	6	5	1	1		
中心地区	100.0	4.9	26.8	36.6	14.6	12.2	2.4	2.4		
/亡物*+PICA	28	1	10	11	4	1		1		
近畿地区	100.0	3.6	35.7	39.3	14.3	3.6	_	3.6		
무대하스	40	2	11	15	10	2				
中国地区	100.0	5.0	27.5	37.5	25.0	5.0	_	_		
m 모 내 C	24	1	6	8	7	1	1			
四国地区	100.0	4.2	25.0	33.3	29.2	4.2	4.2	_		
西日本地区	44	5	12	15	7	3	1	1		
四口本地区	100.0	11.4	27.3	34.1	15.9	6.8	2.3	2.3		

#### 表3 最近の商況(業態別)

	業態		件数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い	無回答
合	計	(件)	417	48	116	147	64	27	6	9
	ĒΙ	(%)	100.0	11.5	27.8	35.3	15.3	6.5	1.4	2.2
שלים ≣פ	調設備		281	30	81	98	43	18	3	8
工部	可以開		100.0	10.7	28.8	34.9	15.3	6.4	1.1	2.8
冷凍	₹•		64	7	17	25	9	4	1	1
冷蔵	找設備		100.0	10.9	26.6	39.1	14.1	6.3	1.6	1.6
<i>₹0.</i>	\/H		67	11	16	23	11	4	2	
70.	フリゼ 		100.0	16.4	23.9	34.3	16.4	6.0	3.0	

表 4 前年の売れ行き状況 (パッケージエアコン)

所在地 (ブロック)	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計(件)	417	102	222	56	37
— <sup>=</sup>   (%)	100.0	24.5	53.2	13.4	8.9
北海道地区	27	11	9	3	4
1. 海坦地区	100.0	40.7	33.3	11.1	14.8
東北地区	51	13	24	8	6
米礼地区	100.0	25.5	47.1	15.7	11.8
関東甲信越静	156	43	83	15	15
	100.0	27.6	53.2	3.2 9.6	9.6
中部地区	41	5	23	10	3
中部地区	100.0	12.2	56.1	24.4	7.3
近畿地区	28	4	18	2	4
<b>坦</b> 蔵地区	100.0	14.3	64.3	7.1	14.3
中国地区	40	5	25	8	2
中国地区	100.0	12.5	62.5	20.0	5.0
m囯₩▷	24	3	13	7	1
四国地区	100.0 12.5 62.5 20. 1国地区 24 3 13 100.0 12.5 54.2 29.	29.2	4.2		
西日本地区	44	18	22	2	2
四口平地区	100.0	40.9	50.0	4.5	4.5

(プラス27.5ポイント)、「近畿」(プラス21.4ポイン ト) と平均を上回っており、大都市圏が好況だった と言える。また、「四国」(マイナス8.4ポイント)、「東 北|(マイナス2ポイント)と2地区でマイナスと なった。前回調査では、「東北 | 地区はプラス13.5 ポイントと商況は良かったが、今回調査ではマイナ ス2ポイントも悪化し、マイナスとなった。「東北」 地区がこのように悪化した要因としては、他の地区 と比較して、「冷凍冷蔵ショーケース」や「業務用 冷蔵庫 | の売れ行きが、他の地区よりも悪いことが 大きく影響していると思われる(表2)。

次に業態別にDI指数を見ると、「空調」が、プラ ス16.7ポイント(前年度プラス1.4ポイント)に、「冷 凍冷蔵 |は、プラス15.5ポイント(プラス5.9ポイント) と、昨年度と比較して、どちらも大幅に改善してい る。電気工事や給排水衛生工事などが多い「その他」 もプラス14.9ポイントと、「空調」や「冷凍冷蔵」の 割合が少ない企業も順調に回復している(表3)。

# Ⅱ.冷凍空調機器の売れ行き状況 PAC、冷凍冷蔵機器ともに横ばい

パッケージエアコンの売れ行き状況では、「良い| は24.5%(前回調査16.1%)となり、「悪い」は13.4 % (同16.7%) と昨年より改善し、ある程度の売上 げは確保したものと思われる。また、2023年度の パッケージエアコンの出荷台数は、(一社)日本冷

表 5 前年の売れ行き状況(冷凍冷蔵ショーケース)

所在地 (ブロック)	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計(件)	417	15	138	141	123
合計(%)	100.0	3.6	33.1	33.8	29.5
小木木中区	27	3	12	7	5
北海道地区	100.0	11.1	44.4	25.9	18.5
***	51	1	9	22	19
東北地区	100.0	2.0	17.6	43.1	37.3
BB = D /=++++2	156	5	50	43	58
関東甲信越静	100.0	3.2	32.1	27.6	37.2
+ ±0.11P.C2	41		19	12	10
中部地区	100.0	_	46.3	29.3	24.4
\L 4 4 TIP L	28	3	10	8	7
近畿地区	100.0	10.7	35.7	28.6	25.0
+B#6	40	1	11	19	9
中国地区	100.0	2.5	27.5	47.5	22.5
	24	1	7	11	5
四国地区	100.0	4.2	29.2	45.8	20.8
# n + 14 kg	44	1	19	17	7
西日本地区 	100.0	2.3	43.2	38.6	15.9

表 6 前年の売れ行き状況(冷凍冷蔵庫)

所在地 (ブロック)	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計(件)	417	28	155	120	114
口 司 (%)	100.0	6.7	37.2	28.8	27.3
北海道地区	27	6	10	6	5
北海坦地区	100.0	22.2	37.0	22.2	18.5
東北地区	51	3	15	17	16
米礼地区	100.0	5.9	29.4	33.3	31.4
関東甲信越静	156	11	55	37	53
	100.0	7.1	35.3	23.7	34.0
다파 <sup>+</sup> 바▽	41		21	11	9
中部地区	100.0	_	51.2	26.8	22.0
近畿地区	28	3	12	7	6
U 截地区	100.0	10.7	42.9	25.0	21.4
中国地区	40		10	20	10
中国地区	100.0	_	25.0	50.0	25.0
四国地区	24	3	8	8	5
四国地区	100.0	12.5	33.3	33.3	20.8
西日本地区	44	2	20	14	8
四口平地区	100.0	4.5	45.5	31.8	18.2

凍空調工業会発表によりますと前年度比97.9%の約 80.6万台とほぼ横ばいとなっている(表4)。

一方、コールドチェーン機器の売れ行き状況で は、冷凍・冷蔵ショーケースは、「良い」と回答し た企業は3.6%(同2.5%)で、「普通」が33.1%(同 33.0%)、「悪い」が33.8%(同35.0%)と、前年度 に比べてほぼ横ばいとなった。また、2023年度の 冷凍冷蔵ショーケースの出荷台数は、前年度比98.7 %の24.5万台と減少した(表5)。

冷凍冷蔵庫は、「良い」は6.7% (同5.6%)、「普通」 は37.2% (同56.5%)、「悪い」が28.8% (同16.5%) と傾向としてはほぼ横ばいとなっている。また、業務用冷蔵庫の出荷台数は、前年度比101.3%の21.7 万台となり、3年連続してプラスとなった(表6)。

## 見通しも「前年度と同様」と予測

これに対し、今年度の見通しでは、パッケージエアコンにおいて「良い」と回答した企業は21.6%、「悪い」は13.4%と、前年度実績の「良い」の24.5%、「悪い」の13.4%と比較して、今年度も昨年度同様に推移するとしている。また、冷凍冷蔵ショーケースでは、「良い」は4.6%、「悪い」は30.9%と前年度実

表7 今年の売行見通し (パッケージエアコン)

-r_L m					
所在地 (ブロック)	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計(件)	417	90	221	56	50
= = = (%)	100.0	21.6	53.0	13.4	12.0
北海道地区	27	13	8	1	5
11/#坦地区	100.0	48.1	29.6	3.7	18.5
후사바다	51	11	22	11	7
東北地区	100.0	21.6	43.1	21.6	13.7
即本中信排料	156	31	88	16	21
関東甲信越静	100.0	19.9	56.4	10.3	13.5
+ 4744 SZ	41	6	23	9	3
中部地区	100.0	14.6	56.1	22.0	7.3
/亡物(11)(17)	28	2	19	1	6
近畿地区	100.0	7.1	67.9	3.6	21.4
+EMP	40	5	26	7	2
中国地区	100.0	12.5	65.0	17.5	5.0
四国地区	24	3	12	6	3
四国地区	100.0	12.5	50.0	25.0	12.5
#U+#M	44	19	18	4	3
西日本地区	100.0	43.2	40.9	9.1	6.8

表8 今年の売行見通し(冷凍冷蔵ショーケース)

所在地 (ブロック)	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計(件)	417	19	138	129	131
口 司 (%)	100.0	4.6	33.1	30.9	31.4
北海道地区	27	4	12	5	6
北海坦地区	100.0	14.8	44.4	18.5	22.2
東北地区	51	3	10	18	20
米北地区	100.0	5.9	19.6	35.3	39.2
関東甲信越静	156	7	53	36	60
	100.0	4.5	34.0	18.5 2 18 35.3 3 36 23.1 3 12 29.3 2 7 25.0 2	38.5
中部地区	41		19	12	10
中部地区	100.0	-	46.3	29.3	24.4
近畿地区	28	3	10	7	8
<u>川</u> 蔵地区	100.0	10.7	35.7	25.0	28.6
中国地区	40		12	18	10
中国地区	100.0	-	30.0	45.0	25.0
四国地区	24	1	5	11	7
四国地区	100.0	4.2	20.8	45.8	29.2
#U+#M	44	1	16	20	7
西日本地区	100.0	2.3	36.4	45.5	15.9

績と比較して、改善は見込まれずほぼ横ばいと予測している。業務用冷蔵庫も同様に予測している(表7~表9)。

#### Ⅲ. 平均年齢、5割以上の企業が40代

今回の調査では、従業員の高齢化が進んでいる建設業界において、会員企業の平均年齢は、「40~45歳未満」が34.3%、次いで「30~40歳未満」の26.4%、「45~50歳未満」の21.8%と、40代で55.1%となり、40代が中心であることがわかるが、30代の企業も1/4以上ある。令和2年の国の調査では、建設土木工事作業員の平均年齢は46.2歳となっており、日設連の会員企業は、全国平均より比較的若い傾向にあるようだ。地区別では、比較的「中部」、「近畿」、「西日本」辺りが、比較的年齢が若い傾向にある(表10)。

#### Ⅳ. 8割以上の企業で「賃上げ」を実施

国の賃上げ要求に伴い、会員企業の実態について 調査した結果、85.6%の企業で「賃上げを実施して いる」と回答し、概ね、賃上げが行われている実態 が判明した(表11)。

また、賃上げ率については、企業毎にまちまちで、5%以上の企業は2割弱ある。地区別の差はほとんどないが、「北海道」、「中部」地区で、5%以上賃上げしている企業が多い(表12)。

表 9 今年の売行見通し (冷凍冷蔵庫)

所在地 (ブロック)	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計(件)	417	29	155	110	123
合計(%)	100.0	7.0	37.2	26.4	29.5
北海洋地区	27	7	9	5	6
北海道地区	100.0	25.9	33.3	18.5	22.2
東北地区	51	4	17	13	17
宋礼地区	100.0	7.8	33.3	25.5	33.3
<b>即市田信址</b>	156	11	57	34	54
関東甲信越静	100.0	7.1	36.5	21.8	34.6
+ ±7.44.57	41	1	18	13	9
中部地区	100.0	2.4	43.9	31.7	22.0
近畿地区	28	3	12	5	8
<b><u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> </b>	100.0	10.7	42.9	17.9	28.6
中国地区	40		11	18	11
中国地区	100.0	_	27.5	45.0	27.5
四国地区	24	1	8	8	7
四国地区	100.0	4.2	33.3	33.3	29.2
#U+#M	44	2	19	14	9
西日本地区	100.0	4.5	43.2	31.8	20.5

表10 平均年齢

所在地	件数	30歳	30~40	40~45	45~50	50~60	60歳	無回答
(ブロック)	十女人	未満	歳未満	歳未満	歳未満	歳未満	以上	無凹合
合計(件)	417	2	110	143	91	52	13	6
口 司 (%)	100.0	0.5	26.4	34.3	21.8	12.5	3.1	1.4
北海道地区	27		6	7	8	3	1	2
化/#坦地区	100.0	_	22.2	25.9	29.6	11.1	3.7	7.4
효사#IC	51	1	12	17	15	4	1	1
東北地区	100.0	2.0	23.5	33.3	29.4	7.8	2.0	2.0
即本田/云北越	156		41	49	33	24	8	1
関東甲信越静	100.0	_	26.3	31.4	21.2	15.4	5.1	0.6
中部地区	41	1	14	14	6	4	1	1
中部地区	100.0	2.4	34.1	34.1	14.6	9.8	2.4	2.4
/こ※ボエドレン	28		11	10	4	2	1	
近畿地区	100.0	_	39.3	35.7	14.3	7.1	3.6	_
+Emp	40		7	14	12	7		
中国地区	100.0	_	17.5	35.0	30.0	17.5	_	_
met 뉴스	24		4	9	6	4		1
四国地区	100.0	_	16.7	37.5	25.0	16.7	_	4.2
# n + 14 67	44		13	20	7	3	1	
西日本地区	100.0	_	29.5	45.5	15.9	6.8	2.3	_

表11 賃上げ

所在地 (ブロック)	件数	して いる	して いない	無回答
合計(件)	417	357	56	4
口 司 (%)	100.0	85.6	13.4	1.0
北海道地区	27	24	2	1
1. // // // // // // // // // // // // //	100.0	88.9	7.4	3.7
東北地区	51	43	8	
宋 化 地	100.0	84.3	15.7	_
即本田/云北越	156	131	24	1
関東甲信越静	100.0	84.0	15.4	0.6
中部地区	41	36	4	1
中部地区	100.0	87.8	9.8	2.4
近畿地区	28	24	3	1
工	100.0	85.7	10.7	3.6
다 코 III C	40	36	4	
中国地区	100.0	90.0	10.0	_
四国地区	24	18	6	
四国地区	100.0	75.0	25.0	_
# L * + N C	44	41	3	
西日本地区	100.0	93.2	6.8	_

表12 賃上げ率 (表11で"賃上げ"している企業)

所在地 (ブロック)	件数	1% 未満	1~2% 未満	2~3% 未満	3~4% 未満	4~5% 未満	5 % 以上	無回答
合計(件)	357	17	51	75	66	70	65	13
口 司 (%)	100.0	4.8	14.3	21.0	18.5	19.6	18.2	3.6
北海道地区	24		2	4	5	5	7	1
北/毋坦地区	100.0	_	8.3	16.7	20.8	20.8	29.2	4.2
東北地区	43	2	4	13	8	8	6	2
米礼地区	100.0	4.7	9.3	30.2	18.6	18.6	14.0	4.7
関東甲信越静	131	7	22	23	22	26	23	8
	100.0	5.3	16.8	17.6	16.8	19.8	17.6	6.1
中部地区	36	2	6	8	6	5	9	
中心地区	100.0	5.6	16.7	22.2	16.7	13.9	25.0	-
近畿地区	24	1	3	6	5	5	4	
<b>坦</b> 蔵地区	100.0	4.2	12.5	25.0	20.8	20.8	16.7	_
무ഥ#PC	36	1	4	7	11	9	4	
中国地区	100.0	2.8	11.1	19.4	30.6	25.0	11.1	-
四国地区	18	1	3	3	2	4	4	1
四国地区	100.0	5.6	16.7	16.7	11.1	22.2	22.2	5.6
西日本地区	41	3	7	11	6	7	6	1
四口本地区	100.0	7.3	17.1	26.8	14.6	17.1	14.6	2.4

## V. 価格の転嫁は4割弱で概ねできている

資機材や人件費の高騰に伴い、工事費等に適切に 価格転嫁できているかどうかの設問に対し、「でき ている」と「概ねできている」とで、37.9%と4割 近くの企業で、「概ねできている」と回答した。し かしながら、6割以上が、価格転嫁が思うように 「できていない」という結果となっており、現実は まだまだ厳しいと言える。地区別では、大きな差異 はないが、「中国」、「四国」地区で、「あまりできて いない | 率が高い (表13)。

## Ⅵ. 冷媒の入れ替えは4割以上が見聞きしている

機器に充塡されているフロンを可燃性冷媒(HC 等) に入れ替えている事例が過去にあったが、最近 になって、散見しはじめてきた。その実態を把握す るため、今回設問に加えたが、4割以上が「見聞き したことがある」と回答しており、かなり、浸透し てきているのではないかと危惧される。地区別では、 最近多く見られる西日本地区については、特段、他 の地区との差異は見られない結果となった(表 14)。

表13 価格転嫁の状況

所在地 (ブロック)	件数	できている	概ね できている	少し できている	あまりでき ていない	できて いない	無回答
合計(件)	417	30	128	141	85	29	4
	100.0	7.2	30.7	33.8	20.4	7.0	1.0
北海道地区	27	2	10	7	6	1	1
	100.0	7.4	37.0	25.9	22.2	3.7	3.7
東北地区	51	2	18	18	9	3	1
	100.0	3.9	35.3	35.3	17.6	5.9	2.0
関東甲信越静	156	13	49	49	32	12	1
	100.0	8.3	31.4	31.4	20.5	7.7	0.6
中部地区	41	4	11	15	7	3	1
	100.0	9.8	26.8	36.6	17.1	7.3	2.4
近畿地区	28	1	8	13	4	2	
	100.0	3.6	28.6	46.4	14.3	7.1	_
中国地区	40	4	10	11	12	3	
	100.0	10.0	25.0	27.5	30.0	7.5	_
四国地区	24		9	7	7	1	
	100.0	_	37.5	29.2	29.2	4.2	_
西日本地区	44	4	11	20	6	3	
	100.0	9.1	25.0	45.5	13.6	6.8	_

表14 可燃性冷媒 (HC等) への入れ替え情報

所在地 (ブロック)	件数	ある	多くはない がある	ない	無回答
合計(件)	417	75	98	233	11
	100.0	18.0	23.5	55.9	2.6
北海道地区	27	4	5	16	2
	100.0	14.8	18.5	59.3	7.4
東北地区	51	12	11	27	1
米礼地位	100.0	23.5	21.6	52.9	2.0
即本中信提契	156	30	34	87	5
関東甲信越静	100.0	19.2	21.8	55.8	3.2
	41	6	14	20	1
中部地区	100.0	14.6	34.1	48.8	2.4
\L 41411111111	28	4	5	18	1
近畿地区	100.0	14.3	17.9	64.3	3.6
무ഥ+MC	40	8	9	23	
中国地区	100.0	20.0	22.5	57.5	_
四国地区	24	2	6	16	
	100.0	8.3	25.0	66.7	_
# D + 1167	44	5	14	24	1
西日本地区	100.0	11.4	31.8	54.5	2.3